

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	心援隊
活動テーマ	夏休み 疎開・保養プロジェクト



福島をはじめ東北・関東には現在でも線量の高い場所が存在し、外遊びなどを制限されている子ども達が少なくない。そういった子どもたちは、日ごろの運動不足などにより体力や免疫力が低下し、必要以上のストレスを感じていることが多い。線量が低い場所で過ごすことで子どもたちの心身の健康を回復するため『疎開・保養プロジェクト』を開催している。

2015年夏のプロジェクトには東北・関東から3組の家族が参加し、公園や山、プールなどでの外遊びや有機無農薬の収穫体験などを楽しんでもらった。初日は喉が痛いなどの訴えがあったが、日が経つにつれて症状が軽くなったようだった。見違えるほど顔色が良くなった参加者もいた。何より制限されることなく外で走り回り、草や土に触り、虫を捕ったりする子どもたちは、とても生き生きしており、その姿を見ている親たちは、心から嬉しそうだった。

プロジェクト中は、外遊びのほかにも講師を招いてのお話会や音楽ライブ、お絵かきのワークショップなどを親子で楽しんでもらった。難しい題材でも面白く工夫されており、子どもたちもしっかり理解し実践していた。大人たちはそれぞれに向けられたメッセージにたくさんの気づきがあったようだった。

またプロジェクト中、ゆっくり過ごし子どもたちと遊んだり、親同士で思いなどを語り合い、支援者に悩みを相談する時間を持つことにより、親たちの精神的な緊張をほぐすことにも努めた。地元では、被ばくに関する不安を打ち明けることがなかなかできないようだが、保養中には気兼ねせず思いの丈を吐き出し、情報交換をし、大阪に移住した家族の体験談を聞くなどしたことで、すっきりしただけでなく、不安が和らいだ、励みになったなどの感想があった。